

令和6年度 6月の園だより

もういっかい、やってみる!

ダンゴムシって、どうしてこんなに子どもたちの心♥をときめかせるのでしょうか。毎日の観察から、触るとまん丸になることや、ダンゴムシはプランターの下や花壇の中にいることなどを突き止めています。花壇の花の下をスコップで掘り返すので、お花が可哀そうだと忠告すると、「だってね、前にここにいったんよ!!」と、厳しく教えてくれました。

また、園庭に出ると自然と水道の近くに集まり、ペットボトルやスコップなどに、水を汲んだり流したりを真剣な表情でひたすら繰り返し、そして、どろどろになった土の感触も手や足で感じています。子どもたちは興味のあることを発見し、追及しながら、ずっと遊んでいます。ひたすら好きなことをして遊びながら、毎日たくさんのことを学んでいるのだと思います。おしりや靴がどろんこで汚れている姿は可愛くてたまりません。「いっぱい遊んだね。」「今日も楽しかったんじゃない。」と、保護者の方にご理解をいただいていることも素敵な環境です。夏に向かってさらに開放的になり、どの年齢においてもダイナミックなあそびが広がっていくことでしょう。お忙しいと思いますが、続いてお洗濯をよろしく願いいたします。

さて、主任の“どろだんご”のドキュメンテーションを見てください。うまくいかなかったも、試行錯誤しながら何度も挑戦する子どもたちの様子が紹介されています。この姿は、幼児になったから自然と身についた力ではなく、赤ちゃんのときからの丁寧な大人との関りから築かれた自己肯定感が土台となっています。

赤ちゃんがひとりで歩き始めた時を思い浮かべてみると、ひとりで立ち上がり、1歩…2歩と歩きだし、バランスを崩して倒れる…まわりにいる大人と目が合い、「あんよしたね」「すごいね」と、声をかけてもらったり、笑顔を向けてもらってまた立ち上がる…。このように、気持ちの立て直しや、チャレンジする意欲には、大好きな大人の存在が不可欠なのです。

今、運動会に向けて、各学年では踊ったり、かけっこなどを楽しんでいます。かけっこで一番になれなくて涙が出たり、みんなで息を合わせて達成感を味わうことなど、とても大事な経験をしています。うまくいかないことがあっても、大好きなお家の人にしっかり話を聞いてもらえれば、また踏ん張れることでしょう。

先月行われた参観日の時、「みどり組さんの時は泣いて部屋にも入れなかったのに、あか組さんになったら、みんなと参観日ができて、お父さんは嬉しいよ。」と、我が子に優しく話しかけるお父さんの声が聞こえてきました。素敵ですね。

運動会当日は、子どもの姿を保護者の方と応援して、成長を喜び合える素敵な一日になるといいなと思っています。そして、何より、お友だちと一緒に運動会を最後まで楽しむことができたなら最高じゃないですか。熱い声援をよろしく願いいたします。

ひよこ組、みどり組、もも組の子どもたちは、暑い中ですので体調を見ながら、無理のないようにご参加ください。

園長

第二みみようこども園

第二みみようこども園の

ハッピー☆

今、園庭で子どもたちが夢中なあそびは
泥だんご作り!!その様子をのぞいてみました♪
泥団子づくりって、実は学習効果が高い遊びなんです!!

予測力



この土はいい土なんだよ。
固くするには、水の量がポイントなんだよ!!

集中力



「どうやったら丸く、硬くなる
んだろう」やってみよう!!

試行錯誤



達成感



「みて～ピカピカになってきたよ」「どうしたらそんなピカピカになるの?」とお喋りしながら泥団子を作っています。

泥団子が壊れても、「もういっかい」とチャレンジし、失敗から学ぶ経験をしてみたり、「こうやってするんだよ」と教えてあげています。また、水と土の量の調整をしながら、どうしたらピカピカになるのかを考えながら科学的な知識も身につけていたり・・・泥団子一つ取っても、あそびの中には色々な学びがあることがわかります。

主任